彦根城博物館年報

令和４年度

はじめに

彦根城博物館は、昭和62年2月に市制施行50周年を記念して開館し、令和5年2月には、開館36周年を迎えることとなりました。これもひとえに市民をはじめとする多くの皆様のご支援・ご協力の賜物と感謝いたしております。

さて、令和4年度は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、同感染症の流行が落ち着きはじめたこともあり、1年間の延べ入館者数は99,267人と前年度と比べて37,251人の増加となり、来館者数の回復が見られました。また、前年度までは同感染症の影響により、予定していた事業を中止せざるを得ない状況が続いておりましたが、令和4年度は予定の事業についておおむね開催することができた1年となりました。

まず、展示関係では、館蔵資料の分野別常設展示である「“ほんもの”との出会い」をはじめ、企画展「彦根藩の足軽―歩兵たちの近世―」、同「上田道三―彦根の歴史風景を描く―」、同「彦根藩井伊家の刀剣」、特集展示「松居石材商店の歴史」を開催したほか、テーマ展および特別公開を計7回開催しました。

次に、保存管理においては、彦根藩井伊家文書と井伊家伝来雅楽器の保存修理を令和4年度も継続実施しました。また、調査研究活動においては、博物館資料および彦根藩・彦根地域の美術工芸資料と古文書資料等の調査研究に取り組みました。中でも、「殿様の日常生活」をテーマとした彦根藩資料の共同研究については、令和3年度に引き続き、国の補助を受けて実施している文化観光推進事業の取組の中で行い、その成果を展示等で公開しました。

普及活動では、講演会や講座、教室「古文書のみかた」に加え、小学生を対象とした「キッズサマースクール」や「わくわく体験スクール」を実施し、子どもたちが伝統文化や歴史に触れる機会を提供しました。また、ホームページや「彦根城博物館だより」の発行により、館や館蔵品の紹介、展示内容やイベントの開催情報など多様な情報の提供を行ったほか、Twitterを活用して、展示の見どころや庭園の様子など、即時的な情報発信に取り組みました。

催物においては、令和4年度に新たな試みとして、小学生を対象に、博物館をより身近に親しんでもらうため、館内でのクイズラリーを開催しました。

今後とも、当館では、彦根市が令和3年度に策定した「彦根市総合計画」の中で目標とする「歴史・文化を生かし、にぎわいと特色がある産業が育つまち」となるよう、文化財の保存に取り組むとともに、収蔵品や施設の活用を図りながら、彦根の歴史・文化の魅力を発信してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本年報が、当館の運営において、一層のご理解に資するものとなれば幸いです。

令和5年7月

彦根城博物館
館長　井伊　岳夫

1．展　示

（1）常設展示“ほんもの”との出会い

井伊家に伝来した美術工芸品や古文書を中心に、受贈・購入資料約83,000件、受託資料を合わせると約98,000件の博物館資料の中から、1回約80点を分野ごとの6テーマ「武家の備え」「幽玄の美」「数寄の世界」「雅楽の伝統」「風雅のたしなみ」「古文書が語る世界」で展示した。博物館資料の保存対策をはかり、季節感に合わせた展示内容となるよう、年間10回の展示替を行った。分野ごとの展示解説シート（木造棟を含めた和文解説20種、英文解説12種）を設置・配布した。

①武家の備え

「井伊の赤備え」と称される歴代藩主の甲冑、刀剣・拵、馬具、弓具、纏、合戦図など。

②幽玄の美

15代直忠が収集した大揃いの能装束や能面。

③数寄の世界

譜代大名家にふさわしい各種の茶道具や藩窯湖東焼。

④雅楽の伝統

12代直亮が収集した日本でも有数の質と量を兼ね備えた雅楽器。

⑤風雅のたしなみ

大名の生活を彩った絵画や書、調度品。

⑥古文書が語る世界

重要文化財「彦根藩井伊家文書」を中心とした古文書類。

（2）テーマ展・特別公開・特集展示

分野別の展示「“ほんもの”との出会い」とは視点を変えて個別のテーマを取り上げた「テーマ展」を5回、国宝・彦根屏風および弥千代の雛道具を中心に公開する「特別公開」、江戸時代に彦根城下で創業した松居石材商店の歴史などを紹介する「特集展示」を実施した。

①特別公開「国宝・彦根屏風」

近世初期風俗画の傑作、国宝・彦根屏風を公開した。

会　　期：令和4年4月15日（金）～5月15日（日）
会　　場：展示室1
入場者数：13,755人

②テーマ展「軍記物語の世界 ―語り継がれる名場面―」

平家物語など、戦を題材とした軍記物語。そこに描き出された登場人物の武勇や悲話などは、後世の美術工芸品や芸能に大きな影響を与えた。本展では、軍記物語にまつわる様々な作品を、館蔵品の中から紹介した。

会　　期：令和4年5月18日（水）～6月20日（月）
会　　場：展示室1
入場者数：7,813人

③テーマ展「能を彩る道具 ―小道具と作り物―」

能において、中啓をはじめとする小道具や舞台に据える作り物は、演目の内容や登場人物の役柄を象徴する、上演に欠かせない重要な道具である。本展では、これら能を彩る道具の意味や役割を演目とともに紹介した。

会　　期：令和4年6月23日（木）～7月20日（水）
会　　場：展示室1
入場者数：5,551人

④テーマ展「源氏物語 ―古典の継承と展開―」

物語文学の最高峰、源氏物語は、広く親しまれるようになった江戸時代、読み物としてだけでなく、絵画や工芸品のモチーフとなるなど、様々に展開した。本展では、江戸時代の源氏物語に関わる様々な資料を展示し、江戸時代に花開いた源氏物語の世界を紹介した。

会　　期：令和4年9月8日（木）～10月5日（水）
会　　場：展示室1
入場者数：7,703人

⑤特集展示「松居石材商店の歴史」

江戸時代に彦根城下で創業し、今に続く松居石材商店。明治・大正期には、石塔・石碑の製作などに加え、トンネル工事などの事業を手掛けた。本展では、同商店製作の石造品や伝来の文書・古写真から、商店の歴史と近代彦根の諸相を紹介した。

会　　期：令和4年9月8日（木）～10月4日（火）
会　　場：展示室6
入場者数：7,621人

⑥テーマ展「彦根藩の年中行事」

江戸時代、彦根藩の殿様も家臣たちも、一年を通じて様々な行事を行っていた。威儀を正して臨む彦根城表御殿での儀礼から、雑煮を食べるというような社会的慣習まで、その様子を紹介した。

会　　期：令和5年1月1日（日・祝）～2月7日（火）

会　　場：展示室1

入場者数：6,489人

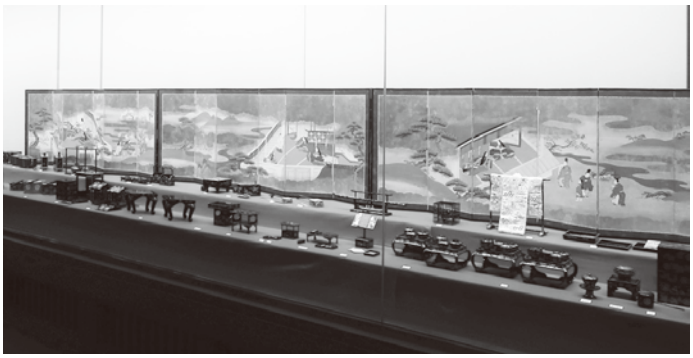
⑦特別公開「雛と雛道具」

井伊家13代直弼の愛娘弥千代（1846～1927）の大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛や御殿飾りなどとともに一挙に公開した。

会　　期：令和5年2月10日（金）～3月13日（月）

会　　場：展示室6

入場者数：4,883人



⑧テーマ展「大名の装い ―井伊家伝来装束を中心に―」

身分や立場によって服装が定められていた江戸時代、一国の統治者である大名も、参加する儀礼や行事、格式に応じて、身につける装束が決められていた。束帯や裃などの礼装を中心に、大名の装いを紹介した。

会　　期：令和5年3月17日（金）～4月17日（月）

会　　場：展示室1

入場者数：16,053人

（3）企画展

「企画展」は、博物館資料に加え外部からも資料を借用するもので、3回開催した。

①企画展「彦根藩の足軽 ―歩兵たちの近世―」

戦乱の世に鉄砲や弓などで戦った歩兵の足軽。太平の世となった近世、彦根藩の足軽は軍事鍛錬に加え、藩政の様々な実務を担い、幕末期には再び戦場で活躍した。本展では、彼らの多様な実態とその特質に迫った。

会　　期：令和4年7月23日（土）～8月31日（水）
会　　場：展示室1～2
入場者数：15,577人

②企画展「上田道三 ―彦根の歴史風景を描く―」

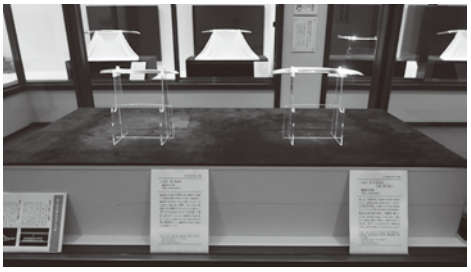
上田道三（1908～84）は、彦根に生まれ、京都や奈良で絵を学んだのち彦根に戻り、城郭や古民家等を愚直に描き続けた画家である。本展では、道三が描いた彦根の風景画を中心に、画壇で活躍した若き日の作品も展示し、その画業の全貌を紹介した。

会　　期：令和4年10月8日（土）～11月7日（月）
会　　場：展示室1～2
入場者数：11,372人

③企画展「彦根藩井伊家の刀剣」

江戸時代の大名は、名物をはじめとする多くの刀剣を有していた。本展では、当館が所蔵する井伊家伝来の刀剣と豊富な古文書を通して、彦根藩井伊家が所持していた刀剣の全容に迫った。

会　　期：令和4年11月10日（木）～12月6日（火）
会　　場：展示室1～2
入場者数：11,044人



2．収集・保管

(1) 購入資料

名　　称	件　数
彦根藩士古今家並記等書留	1件

(2) 受贈資料

名　　称	件　数	寄　贈　者
江戸外桜田井伊掃部頭様御上屋敷絵図	1件	個人
鎌倉秘蜜記	1件	宮嶋裕徳 氏
内目付役留帳断簡	1件	塚本貞美 氏
肥田久五郎家資料	628件	個人
古城山往昔之咄聞集書	1件	藤井譲治 氏
刀 無銘　附 磯草塗鞘打刀拵	1件	個人
井伊直政書状　酒井三郎右衛門尉宛	1件	中野修身 氏
彦根藩大久保家文書	5,832件	大久保治男 氏
彦根藩皆米札	1件	小菅新治郎 氏

(3) 資料修理

名　　称	数　量
雅楽器のうち	
箏	1面
琵琶	1面
重要文化財彦根藩井伊家文書のうち	
御城使寄合留帳	2冊

(4) 資料貸出

名　　称	件数	貸　出　先	展覧会名称
彦根市指定文化財　朱漆塗色々威腹巻　1領	1件	渋谷区立松濤美術館	「装いの力―異性装の日本史」 会期：令和4年9月3日～10月30日
翁装束　茶地斜め竹格子鳳凰丸桐菊寿字文様　1領ほか	13件	石川県立美術館	「加賀宝生のすべて―能面と能装束―」 会期：令和4年9月17日～10月23日
竜笛　銘福原　1管ほか	5件	徳川美術館 名古屋市蓬左文庫	特別展「名物―由緒正しき宝物―」 会期：令和4年9月17日～11月6日
重要文化財　松平慶永口上控書等　松平忠固宛て1冊ほか	4件	高知県立高知城歴史博物館	没後150年記念企画展「山内容堂～鯨海酔侯の見た幕末維新～」 会期：令和4年9月17日～12月11日
井伊直政画像（泰安居士像）　1幅ほか	5件	福山城博物館 ふくやま美術館	福山城築城400年・福山城博物館リニューアル記念特別展「水野勝成と徳川四天王―神君家康の守護者達―」 会期：令和4年10月1日～11月20日
反射望遠鏡　1基ほか	2件	長浜城歴史博物館	企画展「国友一貫斎―発明とその夢―」 会期：令和5年2月4日～3月26日

3．調査・研究

(1) 井伊家伝来資料を中心とする博物館資料等の調査

①彦根藩資料調査研究会「殿様の日常生活」

②個別分野資料調査研究

・井伊家伝来甲冑に関連し甲冑師の基礎調査を行った。

・井伊家伝来機械器具について基礎調査を行った。

・井伊家伝来装束の内、公家装束の基礎調査を行った。

・井伊直忠の演能および能楽との関わりについて文献調査を行った。

・井伊直亮のコレクションに関する基礎調査を行った。

③近世期道具帳調査

④基礎資料翻刻　『彦根藩史料叢書　侍中由緒帳』18巻の原稿作成・編集作業

⑤旧彦根藩士家等の個人や寺社等が所蔵する美術工芸品や古文書の調査

・彦根藩大久保家文書近世分の目録作成のほか、調査を進めた。

⑥資料の寄贈・寄託を受ける際の、資料調査と目録採録

(2) 令和4年度に開催した企画展、令和5年度に開催する展覧会関連資料の調査研究

①令和4年度企画展「彦根藩の足軽」

②令和4年度企画展「上田道三」

③令和4年度企画展「彦根藩井伊家の刀剣」

④令和5年度企画展「仰ぎて天文を見る」

⑤令和5年度企画展「関東大震災から100年　災害と井伊家伝来資料」

⑥令和5年度特別展「大名と菓子」

(3) 『彦根城博物館研究紀要』第33号の刊行

「資料紹介　彦根藩井伊家当主の外出記録―「御出留」（文化九年・十年）―」、「資料紹介　添乳之枕」の2編を収録し刊行した。

(4) その他

①大名道具収蔵館研究会

大名道具を収蔵する博物館が集まり、大名道具や大名家の歴史に関する研究発表・情報交換を行う「大名道具収蔵館研究会」の令和4年度事務局として、第29回研究会をリモート方式にて開催した。

日程：令和4年12月12日（月）

研究発表　テーマ「殿様とその周辺の記録・古文書」

・「大名文庫伝来の日記資料―柳沢家当主『年録』の紹介―」
　郡山城史跡・柳沢文庫保存会　越坂裕太氏

・「『側役日記』からみえる井伊家10代当主直幸の姿―寺社参詣を事例に―」
　彦根城博物館　北野智也

・「真田家文書にみる松代藩主の活動」
　真田宝物館　山中さゆり氏

4．普　　及

(1) 企画展関連講演会等

①企画展「彦根藩の足軽―歩兵たちの近世―」

・現地見学会「彦根市指定文化財　足軽組屋敷をめぐる」

開催日時：令和4年8月6日（土）
第一部 9時～10時30分
第二部 11時～12時30分
※第一部と第二部は同内容。
会　　場：旧彦根藩足軽組屋敷（善利組・旧礒島家住宅）
（彦根市芹橋二丁目）ほか
講　　師：渡邊弘俊氏（彦根辻番所の会会長）、北野智也
参加者数：17人（第一部・第二部合計）

・シンポジウム「彦根藩足軽の実態と特質―萩藩との比較から―」

開催日時：令和4年8月20日（土）13時～16時30分
講　　師：森下徹氏（山口大学教授）
渡邊弘俊氏（彦根辻番所の会会長）
北野智也
会　　場：当館能舞台正面見所
参加者数：28人

②企画展「上田道三―彦根の歴史風景を描く―」

・講演会「画家 上田道三の足跡～その生涯をひもとく～」

開催日時：令和4年10月15日（土）14時～15時30分
会　　場：当館講堂
講　　師：奥田晶子
※上田道三の遺族も来場し、パネリストとして参加。
参加者数：47人

・講演会「上田道三の画業～風景画から記録画へ～」

開催日時：令和4年10月29日（土）14時～15時30分
講　　師：奥田晶子
会　　場：当館講堂
参加者数：26人

③企画展「彦根藩井伊家の刀剣」

・講演会「井伊家伝来刀剣　名刀の履歴書」

開催日時：令和4年11月19日（土）14時～15時30分
講　　師：古幡昇子
会　　場：当館講堂
参加者数：20人

(2) 展示解説

通常は、展覧会ごとに展示室で担当学芸員が展示の趣旨や展示作品のみどころを解説するギャラリートークを行っているが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講堂にてパワーポイントを用いて展示の概要などを解説するスライドトークを実施した。

タ　イ　ト　ル	開　催　日	担当学芸員	参加者数
①国宝・彦根屏風	令和4年 4月16日（土）	髙木　文恵	22人
②軍記物語の世界―語り継がれる名場面―	令和4年 5月21日（土）	古幡　昇子	8人
③能を彩る道具―小道具と作り物―	令和4年 6月25日（土）	茨木　恵美	12人
④彦根藩の足軽―歩兵たちの近世―	令和4年 7月23日（土）	北野　智也	35人
⑤源氏物語―古典の継承と展開―	令和4年 9月10日（土）	髙木　文恵	35人
⑥松居石材商店の歴史	令和4年 9月10日（土）	早川　駿治	27人
⑦上田道三―彦根の歴史風景を描く―	令和4年10月 8日（土）	奥田　晶子	46人
⑧彦根藩井伊家の刀剣	令和4年11月12日（土）	古幡　昇子	12人
⑨彦根藩の年中行事	令和5年 1月 7日（土）	早川　駿治	9人
⑩雛と雛道具	令和5年 2月11日（土）	奥田　晶子	16人
⑪大名の装い―井伊家伝来装束を中心に―	令和5年 3月18日（土）	茨木　恵美	15人

※時間はいずれも14時～14時30分、①～⑥は定員35名、⑦～⑪は定員50名で開催した。

(3) 博物館講座

市民が彦根城博物館とその資料、日本の歴史や美術に親しむ機会を提供するために、学芸員それぞれが、展示内容や各自の研究テーマについて日ごろの成果を踏まえてより深く解説した。

タ　イ　ト　ル	開　催　日	担当学芸員	参加者数
①講座　私の研究最前線 「二十歳の直弼、江戸へゆく」	令和4年 6月 4日（土）	渡辺　恒一	17人
②講座　私の研究最前線 「井伊直亮の雅楽器収集 ――大コレクションの形成―」	令和4年 6月18日（土）	髙木　文恵	10人
③特集展示「松居石材商店の歴史」関連講座 「松居石材商店からみる近代彦根」	令和4年 9月17日（土）	早川　駿治	19人
④講座　私の研究最前線 「殿様の鷹狩を支えた人たち」	令和4年12月 3日（土）	竹内　光久	9人
⑤テーマ展「彦根藩の年中行事」関連講座 「年中行事を比較する ―江戸幕府・彦根藩・彦根藩士家―」	令和5年 1月14日（土）	早川　駿治	11人
⑥講座　私の研究最前線 「井伊家伝来の公家装束を紐解く」	令和5年 2月18日（土）	茨木　恵美	7人

※①～②は定員35名、③～⑥は定員50名で開催した。

(4) 博物館教室

①古文書のみかた

当館所蔵「彦根藩井伊家文書」などをテキストに、古文書解読方法を基礎から講義する教室を開催した。

開催日時：令和4年5月28日（土）、6月11日（土）、7月2日（土）、7月16日（土）、
8月27日（土）、9月24日（土）　（全6回）
いずれも14時～16時

参加者数：延べ143人

講　　師：北野智也、竹内光久

②キッズサマースクール・わくわく体験スクール

小学生向けに日本の伝統文化や歴史に親しむ体験教室を開催した。

1）キッズサマースクール

開催日時：令和4年7月31日（日）
10時～12時　　小学4～6年生対象
13時30分～15時30分　小学1～3年生対象

内　　容：巻物の特徴について学び、オリジナルの巻物を作った。

参加者数：30人（午前・午後合計）

講　　師：当館学芸員

2）わくわく体験スクール「茶道を楽しもう」

開催日時：令和4年10月2日（日）
10時～12時　　小学4～6年生対象
13時30分～15時30分　小学1～3年生対象

内　　容：茶道の文化を学び、実際にお茶の体験を行った。

参加者数：30人（午前・午後合計）

講　　師：外海和子氏

(5) 彦根城博物館だより

137～140号を発行し、当館の展示や催物等の行事案内、お知らせ、学芸員が執筆する研究余録を掲載して、各6,000部を印刷して来館者や関係機関に配布した。

(6) 博物館学芸員実習

期　　間：令和4年9月5日（月）、6日（火）、7日（水）、9日（金）、12日（月）の5日間

受入人数：5人（滋賀県立大学2人、京都美術工芸大学1人、龍谷大学1人、成安造形大学1人）

(7) 展示案内の受け入れ・講師派遣など

小中高校の総合学習をはじめとする授業の一環などで博物館に来館した児童・生徒へ、当館および井伊家等に関する解説や質問対応を行った。また、出前講座をはじめ、歴史、美術に関する講座・講演会等の依頼に随時応えた。

学校対応：	総合学習	2件	参加者数：112人
講　　演：	市民団体、他の自治体等	3件	受講者数：114人
	市内公民館の講座	7件	受講者数：153人
	庁内機関の講座	1件	受講者数： 20人
	彦根城博物館友の会主催の講演会等	1件	受講者数： 14人

(8) 問い合わせ等の対応

歴史、美術に関する疑問や先祖調査など、市民等の問い合わせに随時答えた。

(9) 彦根城博物館ホームページ

ホームページにおいて、最新情報を公開するとともに、館蔵作品の紹介を充実させ、当館の魅力を積極的に発信した。また、SNSでは、Twitterを活用し、博物館の展示に関するツイートやお城EXPO参加ツイートなど即時的な情報発信に努めた。

5．市民との協働

これからの博物館運営には、博物館を地域の一人ひとりが支えていく体制づくりが求められている。このことから、博物館と市民とが協働して活動する体制づくりに取り組んだ。

(1) 彦根城博物館友の会

①活動内容等

友の会会員の数は、一般会員327人（高校生含む）、ジュニア会員2人、賛助会員100口。「彦根城博物館友の会ニュース」を年4回刊行している。誌面には行事や展示の案内の他に、投稿や学習のための記事を掲載。また、友の会独自で講演会や研修会を開催している。

②展示解説ボランティアガイド

会員の中からボランティアを募り、観覧者からの展示解説の要望に応えている。展覧会ごとの学習会では学芸員が展示説明会を開きガイドの育成を図っている。

ボランティアガイド登録者数：11人

展示解説の回数（令和4年4月1日～令和5年3月31日）：延べ 53回

(2) 博物館支援スタッフ

博物館事業の運営に関わる支援スタッフを募集し、博物館職員と共に活動した。

①教育普及事業

キッズサマースクール、わくわく体験スクール「茶道を楽しもう」において、チラシ分け作業や小学生へ体験学習の指導補助を行った。

登録者数：15人　　活動回数：5回　　活動人数：延べ23人

②古文書解読ボランティア

登録者を2グループに分けて1か月に1回定例会を開催し、「側役日記」（彦根藩井伊家文書）の解読作業を進めた。

登録者数：19人　　活動回数：20回　　活動人数：延べ159人

6．催　　物

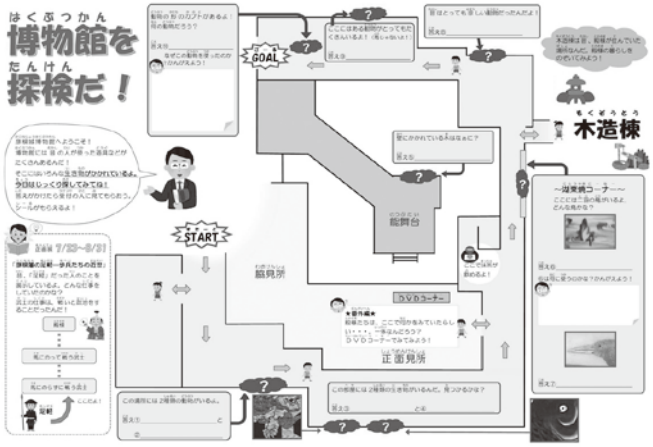
(1) 夏休みクイズラリー「博物館を探検だ！」

小学生向けにクイズに解答しながら観覧することで博物館に親しむイベントを開催した。

開催日時：令和4年8月1日（月）～8月31日（水）

内　　容：小学生を対象に､展示作品や建物の中から生き物の絵を探すクイズラリーを行った。

参加者数：延べ1,574人



参加賞のステッカー

(2) 秋声の茶席

観光関係団体が連携し、夜のイベントを開催した。当館では、藩主の住まいを復元した木造棟で、庭園をライトアップし、お茶席を開催した。(抹茶・季節の生菓子付き)

開催日時：令和4年10月8日（土)、9日（日)、15日（土)、29日（土）

①18時～18時30分　②19時～19時30分

※30分制

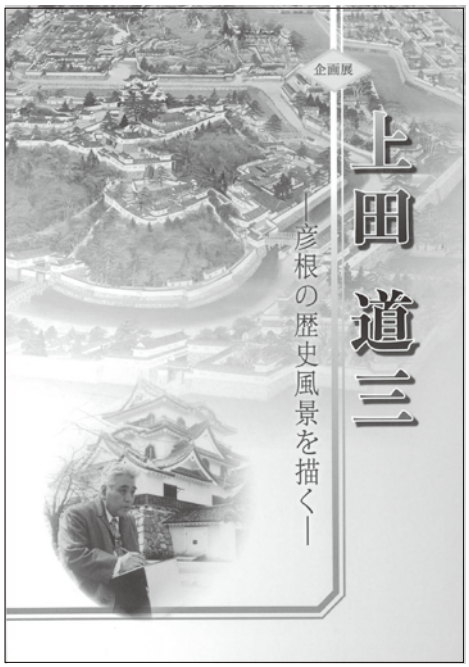
料　　金：一服　500円

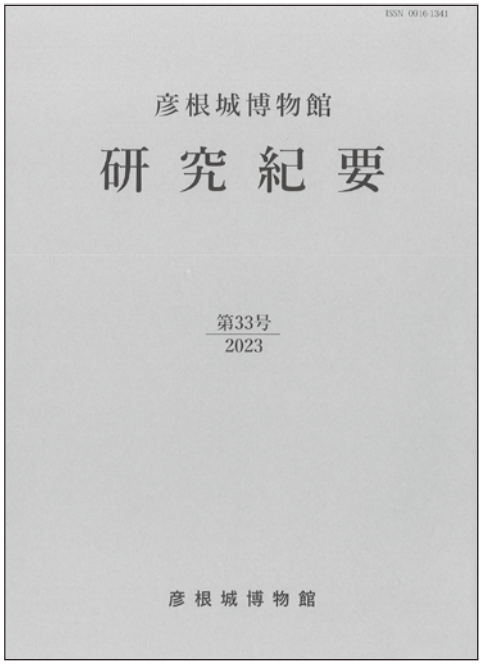
開催回数：8回

参加者数：延べ57人

7．刊　行　物

名　　称	発行年月	備　　考
企画展図録「彦根藩の足軽―歩兵たちの近世―」	令和4年 7月	Ａ５判・56頁　1,000冊
企画展図録「上田道三―彦根の歴史風景を描く―」	令和4年10月	Ａ５判・56頁　1,000冊
彦根城博物館研究紀要　第33号	令和5年 3月	Ｂ５判・64頁　650冊





8．薄茶席・売店運営事業

来館者へのサービス提供の一つとして当館直営で運営している。

(1) 薄茶席

当館の普及活動の一環として、日本の伝統文化の体験と来館者へのサービスを提供するため、薄茶席コーナーを設け、能舞台を眺めながら落ち着いた雰囲気で休憩していただいている。

一服　500円（生菓子付き）

(2) 売店（ミュージアムショップ）

当館の普及活動の一環として、彦根城博物館に関連する図録等の普及物品を販売した。

＜博物館関連商品＞　（単位：円）

商　品　名	販売単価	商　品　名	販売単価
彦根屏風（小型）紙箱入り	6,600	ピンバッジ（5種類）	300
彦根屏風（小型）桐箱入り	7,490	ハンカチ　名物裂（3種類）	1,300
彦根屏風（大型）紙箱入り	13,750	薬入れ（2種類）	1,400
彦根屏風（大型）桐箱入り	21,295	巾着（6種類）	1,400
関ヶ原合戦図屏風	13,200	小風呂敷（2種類）	1,100
彦根屏風色紙	1,980	彦根風呂敷	4,900
絵はがき（彦根屏風）	550	古帛紗	4,400
絵はがき（単品）	100	彦根更紗小風呂敷（3種類）	1,300
彦根城パンフレット	660	印鑑入れ（2種類）	750
クリアファイル関ヶ原	550	サイフ（5種類）	900
井伊家伝来富貴長命古帛紗	5,500	メガネケース（4種類）	1,000
井伊家伝来富貴長命出帛紗	16,500	平型スキヤ（綿）大	3,800
井伊家伝来富貴長命風呂敷	7,000	マチ付がま口	1,650
井伊家伝来富貴長命小風呂敷	2,000	彦根更紗柄　ウンヤ手数寄屋袋	20,900
彦根藩井伊家　家紋手拭い	1,330	彦根更紗柄　ウンヤ手懐紙入れ	8,250
彦根藩井伊家　井桁手拭い	1,070	彦根更紗柄　ウンヤ手小帛紗	8,800
彦根藩井伊家　金張アクリルストラップ	1,300	彦根更紗柄　ウンヤ手大帛紗	17,600
彦根藩井伊家　アクリル彫刻ストラップ	920	彦根更紗柄　段更紗数寄屋袋	18,700
彦根藩井伊家　竹彫刻ストラップ	720	彦根更紗柄　段更紗懐紙入れ	7,700
滋賀県産ひのきストラップ　彦根藩井伊家	770	彦根更紗柄　段更紗小帛紗	8,800
滋賀県産ひのきストラップ　彦根城（丸形）	770	彦根更紗柄　段更紗大帛紗	17,600
滋賀県産ひのきストラップ　彦根城	880		

＜図　書　類＞　（単位：円）

商　品　名	販売単価	商　品　名	販売単価
城下町彦根　街道と町並	1,320	埋木舎と井伊直弼	1,320
彦根藩の藩政機構	7,150	彦根城を極める	880
譜代大名井伊家の儀礼	6,600	近江佐和山城・彦根城	2,750
武家の生活と教養	6,050	すごいぞ！彦根城	1,100
城下町の記憶	2,200	滋賀ミュージアムガイド	1,320
公用方秘録	6,600	近江の画人	5,280
井伊直弼の茶の湯（下）	7,150	12歳から学ぶ　滋賀県の歴史	1,650
幻の名窯―湖東焼（改訂版）―	2,200	埋木舎で培われた井伊直弼の茶の湯	1,540
城下町彦根を描く	3,780	彦根カルタ	990
ひこね	1,100		

＜図　録　等＞　　（単位：円）

商　品　名	販売単価	商　品　名	販売単価
琉球王朝の美	1,300	研究紀要　18	800
お多賀さまへは月まいり	1,500	研究紀要　19	800
宴	1,600	研究紀要　20	800
馬	1,500	研究紀要　21	1,000
京都画壇の華―狩野永岳―	1,500	研究紀要　22	800
長浜大通寺の精華	1,500	研究紀要　23	1,000
延寿寺の歴史と美術	200	研究紀要　24	800
仙琳寺の歴史と美術	300	研究紀要　25	1,000
高宮寺と時宗の美術	500	研究紀要　26	800
彦根藩御用絵師　佐竹永海	500	研究紀要　27	800
彦根の黄檗寺院	500	研究紀要　28	900
近江八景から琵琶湖八景へ	500	研究紀要　29	900
彦根ゆかりの画人	500	研究紀要　30	1,000
国宝　彦根屏風	27,300	研究紀要　31	900
侍中由緒帳　1	3,000	研究紀要　32	1,000
侍中由緒帳　2	3,900	研究紀要　33	900
侍中由緒帳　3	3,700	法蔵寺文書目録	1,000
侍中由緒帳　4	3,500	四十九町代官家文書・村崎家文書調査報告書	1,200
侍中由緒帳　5	3,500	たんけん！！彦根城表御殿	200
侍中由緒帳　6	3,000	井伊直弼ってどんな人？	200
侍中由緒帳　7	3,000	江戸時代の医療	300
侍中由緒帳　8	3,000	直政・直孝物語	200
侍中由緒帳　9	3,000	井伊家伝来の名宝1 井伊家と彦根藩	700
侍中由緒帳 10	3,000	井伊家伝来の名宝2 武器と武具	700
侍中由緒帳 11	3,000	井伊家伝来の名宝3 彦根屏風と書画	700
侍中由緒帳 12	3,000	井伊家伝来の名宝4 茶道具と調度	700
侍中由緒帳 13	3,000	井伊家伝来の名宝5 能と雅楽	700
侍中由緒帳 14	3,000	政治の時代―井伊直弼と幕末の群像―	1,500
侍中由緒帳 15	3,000	直弼かるた	1,000
侍中由緒帳 16	3,000	五百羅漢のお寺―天寧寺の歴史と美術―	500
侍中由緒帳 17	3,800	ポスター　関ヶ原合戦図屏風	300
研究紀要　5	1,500	肥田の古墳・城・村―大地に刻まれた記憶―	600
研究紀要　8	1,000	武門の絆―徳川将軍家と井伊家―	1,000
研究紀要　9	1,000	近代日本の書聖　日下部鳴鶴	800
研究紀要　10	1,000	茶人井伊直弼と幕末のやきもの	500
研究紀要　11	1,000	彦根藩筆頭家老・木俣清左衛門家資料	600
研究紀要　12	1,000	近江と能―霊場・名所・物語―	500
研究紀要　13	800	天下普請の城　彦根城	900
研究紀要　15	800	井伊直弼のこころ―百五十年目の真実―	800
研究紀要　16	800	忠義の人　遠城謙道―主君直弼への思いと禅画―	500
研究紀要　17	800	一期一会の世界　大名茶人　井伊直弼のすべて	1,000

（単位：円）

商　　品　　名	販売単価	商　　品　　名	販売単価
重要文化財「彦根藩井伊家文書」老中奉書等修理報告書	1,800	日本の刀装―刀を飾る技と美―	1,500
参勤交代と彦根藩領―大名行列を迎えた人々―	600	彦根藩の足軽―歩兵たちの近世―	600
コレクター大名 井伊直亮―知られざる大コレクションの全貌―	1,200	上田道三―彦根の歴史風景を描く―	600
能面再興の立役者　近代の名工・中村直彦	500	クリアファイル（5種類）	315
商家のうつわ―湖東の商家伝来のやきもの―	500	一筆箋（2種類）	300
彦根製糸場―近代化の先駆け―	600	付箋	100
長曽祢虎徹―新刀随一の匠―	1,000	絵はがきセット（6種類入り）	500
江戸時代の彦根を知ろう！	700	オリジナルトートバッグ	700
雛と雛道具	700	ポストカード（彦根屏風）	100
拵―井伊家伝来の刀装―	1,200	オリジナルミニバッグ（彦根屏風）	700
彦根藩井伊家と能楽	500	絵はがき（33種類）	100
幻の名窯 湖東焼―彦根藩窯の盛衰―	1,800	彦根城 御城印（博物館オリジナル）	300
中川禄郎―井伊直弼を支えた儒学者―	600	彦根城 御城印（さくらver.）	400
奇才の絵師 張月樵―彦根～京～名古屋への道―	1,000		

令和4年度に新たに販売した商品

彦根城御城印(さくらver.)

※期間限定販売

9．文化観光推進事業

文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律に則り認定を受けた地域計画に基づき、文化資源の磨き上げ、Wi-Fiやキャッシュレス決済等の整備、学芸員等の体制支援、バリアフリー等の利便性向上改修や展示改修等、地域一体となった観光コンテンツの造成等の取組について国の支援を受けて、彦根地域の文化の振興を起点とした文化観光を推進し、文化・観光の振興、地域の活性化の好循環を図る取組で、当館では以下の事業を行った。

(1) 彦根藩資料調査研究活用事業

彦根藩資料の調査研究を深め、かつその成果を活用することによって、彦根の文化観光を推進することを目的に、博物館学芸員と外部の日本史研究者が彦根藩井伊家当主の生活実態の解明をテーマに共同研究を行うもの。

令和4年度は、令和3年度～7年度までの5か年計画の2年度目。計4回の研究会を開催し、それらの成果を常設展示「古文書が語る世界」で公開したほか、広報ひこね等の媒体で紹介した。また、4回目の研究会は、「殿様の外出―井伊家10代当主直幸による鷹狩りと寺社参詣を中心に―」と題し、公開研究会という形で行った。

日本史研究者（招聘）：有坂道子氏（京都橘大学教授）
並木昌史氏（徳川美術館学芸部マネージャー）
三宅正浩氏（京都大学准教授）

研究会開催日：第1回　令和4年7月1日（金）
第2回　令和4年9月23日（金・祝）
第3回　令和4年12月24日（土）
第4回　令和5年3月26日（日）
※第4回のみ一般公開（参加者数26人）

(2) 彦根城博物館リニューアル事業

能舞台周りの外気対策を実施することで舞台のさらなる利活用を図るほか、受付・売店・玄関ホール周りの改修と案内表示の統一感のある改修により来館者の満足度の向上を図るもの。令和4年度は、令和5年度以降の改修工事に向け、実施設計を行った。

令和5年度に能舞台周りのスライディングウォールの改修工事を、令和6年度に受付・売店・玄関ホールの大規模改修や新しい案内表示の設置等を予定している。

(3) 彦根城博物館展示ケース整備事業

当館は、収蔵品の核である井伊家伝来の美術工芸品・古文書等を中心に、全て実物を展示し、本物の魅力を伝えることを展示コンセプトとしているが、展示ケースのガラスの反射や映り込み、ケースを自由に配置できない等の問題があり、作品の見せ方に工夫を凝らしにくい状況にあった。

これらを解消するため、令和3年度および4年度の2か年計画で、展示ケースのガラス面への低反射フィルム貼布を行うとともに、間近で様々な角度から作品を鑑賞できる独立展示ケースを購入した。令和4年度は、展示室1～3でフィルム貼布を行い、独立展示ケース1台を購入した。

10. 利用状況

(1) 観覧者数

（単位：人）

月　別	個　人		団　体	無　料	合　計	開館以来累計
	一　般	小中学生				
令和 4年 4月	7,589	1,075	147	1,738	10,549	4,084,706
5月	10,088	1,482	300	1,251	13,121	4,097,827
6月	4,691	312	40	743	5,786	4,103,613
7月	4,909	767	106	691	6,473	4,110,086
8月	9,373	2,425	202	1,121	13,121	4,123,207
9月	4,659	459	182	897	6,197	4,129,404
10月	7,212	700	541	1,614	10,067	4,139,471
11月	8,714	559	486	1,791	11,550	4,151,021
12月	2,142	134	1	321	2,598	4,153,619
令和 5年 1月	4,129	657	53	648	5,487	4,159,106
2月	2,773	308	54	653	3,788	4,162,894
3月	7,361	1,086	204	1,879	10,530	4,173,424

※休館（令和4年4月13日、6月21日、9月1日～9月7日、10月6日、12月7日～12月31日、
令和5年2月8日、2月9日、3月14日～3月16日）

(2) 特別利用

（単位：件）

区　分	熟　覧	撮　影	合　計
令和４年度合計	16	17	22

※１件の申請で「熟覧」・「撮影」を重複して申請することがあるため、
「熟覧」・「撮影」の合計と、「合計」とは一致しない。

(3) 画像資産利用

（単位：件）

区　分	掲　載	閲覧・複写	委託業者からの貸出	合　計
令和４年度合計	29	27	82	138

(4) 国宝紙本金地著色風俗図（彦根屏風）商標使用　　8件

(5) 施設利用

区　分	能 舞 台	木 造 棟	講　堂	合　計
利用件数(件)	7	10	136	153
利用者数(人)	691	204	1,960	2,855

11. 管理・運営

(1) 組織（令和5年3月31日現在）

彦根市教育委員会事務局 ―― 彦根城博物館 ┬ 管　理　課 ―― 管理係
　　└ 学芸史料課 ┬ 学芸係
　　└ 史料係

(2) 博物館協議会

〔委員〕 10人

〔会議〕

・第1回

日時：令和4年8月12日（金）14時～15時30分

場所：彦根城博物館　講堂

議題：1　令和3年度彦根城博物館の事業報告について

2　令和4年度彦根城博物館の事業計画について

3　令和5年度彦根城博物館の事業・取組について

4　その他

彦根城博物館リニューアル基本計画について

・第2回

日時：令和5年3月

場所：書面開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

議題：1　令和4年度彦根城博物館事業取組状況について（報告）

2　令和5年度彦根城博物館の事業計画（案）について

3　彦根城博物館の設置および管理に関する条例の改正について

(3) 職員（令和5年3月31日現在）

館長	1人
副館長兼学芸史料課長兼史料係長（学芸員）	1人
管理課長	1人
管理課長補佐兼管理係長	1人
主任	1人
主事	1人
会計年度任用職員（事務補助）	2人
学芸史料課主幹兼課長補佐（学芸員）	1人
学芸係長（学芸員）	1人
主任（学芸員）	5人
技師（学芸員）	1人
会計年度任用職員（事務補助）	1人

(4) 受付・売店運営、薄茶席運営、作業員業務

受付・案内・観覧券販売　…委託（通常1ポスト）
売店運営　…委託（通常1ポスト）
薄茶席運営　…委託（通常1ポスト）
（土曜日・日曜日・祝日等のほか、行祭事日等の観覧者が多いと想定された日には、増員配置で対応）
作業員（日常保全）　…委託（通常1ポスト）
（庭園管理等、特別作業がある日は増員配置で対応）

(5) 警備・保守・清掃

警備（人的警備）　…委託（夜間1ポスト、昼間2ポスト）
警備（機械警備）　…委託（24時間）
清掃　…委託（毎日2～4人）
電気工作物保守管理　…委託（年6回）
消防設備等保守点検　…委託（外観・機能点検 年間2回、総合点検 年間1回）
自動扉保守点検　…委託（年間4回）
電動椅子保守点検　…委託（年間1回）
空調設備保守点検　…委託（年間2回）
高所作業台保守点検　…委託（年間1回）
重量シャッター保守点検　…委託（年間1回）
便所脱臭装置保守　…委託（年間6回）

(6) 設備改修工事等

施設・設備等の老朽化に伴い、次の改修を行った。
①彦根城博物館防火シャッター改修工事
期間：令和4年9月9日～令和5年1月31日
②彦根城博物館冠木門改修工事
期間：令和5年1月5日～令和5年3月30日

(7) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

公益財団法人日本博物館協会が作成した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき次の対策を行い、安全・安心の確保に努めた。
①マスク着用による飛沫感染の防止
②手洗い・消毒の徹底やソーシャルディスタンスの確保や入館制限・施設利用人数制限等による接触感染の防止
③発熱者の入館を防ぐため、入館時に検温を実施した。効率化のためサーマルカメラを玄関ホールおよび職員通用口に設置した。

彦根城博物館年報

令和４年度

令和5年7月発行

〒522-0061　滋賀県彦根市金亀町1番1号

彦 根 城 博 物 館